

2022年1月25日

各 位

会 社 名 長 瀬 産 業 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 朝 倉 研 二  
(コード番号 8012 東証第1部)  
問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション本部長 今村 夏樹  
(TEL 03-3665-3640)

## NAGASE グループカーボンニュートラル宣言につきまして

当社は、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた方針を策定しましたのでお知らせします。

当社は、2021年5月に発表したマテリアリティ（重要課題）において「社会・環境課題の解決とグローバルイノベーション」を掲げています。グローバルに事業を展開するNAGASEグループにとって、気候変動への対応はグループ全体で取り組むべき重要な課題と認識しています。

NAGASEグループは商社機能に加え、製造・加工機能を有することから、「商社業／製造業」と「可視化／削減」の2軸4象限に分類し、以下の目標達成に向けて取り組んでまいります。

### ■ 目標

2050年までにGHG排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルの達成を掲げます（Scope1・2）。また、2030年までに、Scope1・2を46%削減（2013年比）、Scope3を12.3%以上削減（2020年比）します。

なお、Scope3は今後のサプライチェーンとの対話により目標値の更新も検討します。

### ■ 全体施策

2021年度中にTCFD<sup>※1</sup>への賛同表明を行います。また、計画の蓋然性の担保のため、SBT<sup>※2</sup>の認証を検討します。

その他、排出量の中長期目標設定にあたり、NAGASEグループの成長戦略との両立を図るため、環境投資の優遇制度や社内炭素税の導入も検討を進めます。

### ■ 施策

2050年および2030年の目標達成に向けて、以下の4つの施策を進めます。

<【図1】参照>

施策①：サプライチェーンにおける排出量の可視化など

施策②：戦略製品のLCA算出など

施策③：低炭素製品・削減ソリューションの提供、環境対応型設備の導入など

施策④：生産工程改善、再エネ活用（購入・自家発電）など

NAGASEグループではサステナビリティ基本方針を定め、「企業活動を通じて社会・環境課題の解決に貢献し続ける」ことを、経営理念を含むすべての理念体系に共通する考え方として位置付けています。

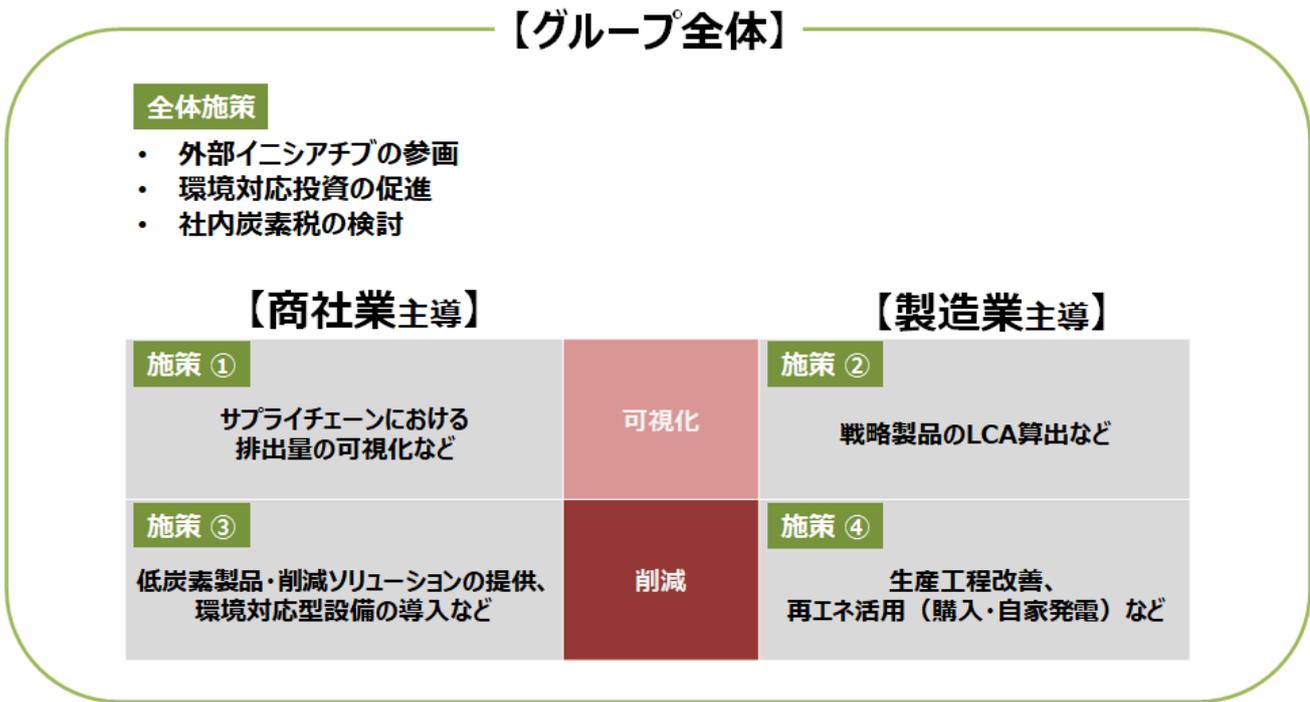
今後も、サプライチェーン全体のご協力とご理解を賜りながら、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

なお、中期経営計画 **ACE 2.0** における気候変動対応含む非財務情報のKPIについては、2022年5月の公表

を予定しています。

- ※1：気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）。TCFDは企業等に対し、気候変動関連リスク・機会に関するガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標について開示することを推奨しています。
- ※2：Science Based Targets。SBTは、パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準（Well Below 2℃に抑え、また1.5℃に抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標です。

【図1】



■ NAGASE グループのサステナビリティ

<https://www.nagase.co.jp/sustainability/>

以上